

# 新春展

令和5年1月1日(日)～1月9日(月・祝)

〈場所〉 北野天満宮 宝物殿

〈時 間〉 9時～16時 (最終受付15時45分)

〈拝観料〉 大人 1,000円 中高生 500円 小人・修学旅行生 250円

※未就学児 無料

春を寿ぐおめでたい御神宝



秀吉公・家康公のかりの御神宝

令和5年2月1日(水)～3月26日(日)

〈場所〉 北野天満宮 宝物殿

〈時 間〉 9時～16時 (最終受付15時45分)

〈拝観料〉 大人 1,000円 中高生 500円 小人・修学旅行生 250円

※未就学児 無料

春の特別公開

## 新春展

春を寿ぐおめでたい御神宝

### 秀吉公・家康公ゆかりの御神宝

#### 新春特別公開

令和五年（二〇二三）初めの特別展では、北野天満宮宝物殿におさめられた御神宝の中から、竹内栖鳳筆の紅白梅図など新春を寿ぐおめでたい意匠の絵画とともに、本年の大河ドラマ「どうする家康」にちなみ、豊臣秀吉公・秀頼公ゆかりの御神宝ならびに徳川家康公をはじめとする徳川家ゆかりの御神宝を一挙公開いたします。

豊臣秀吉公、秀頼公より奉納された燈籠、重要文化財の太刀國広、徳川家康公、秀忠公直筆の夢想連歌や書状、また綱吉公より奉納された貴重な『四書直解』などの奉納品からは、当宮が武運長久を願う武芸の神、学問成就を願う学問の神、そして国家の安寧を願う鎮護国家の守護神として崇敬されていたことがうかがえます。また、北野天神縁起絵巻（平成記録本）巻三の紅梅別離の場面や、重要文化財太刀鬼切丸を含む刀剣約二十振りなど天神信仰の主要な御神宝も併せて展示いたします。

いち早く花開く境内の梅のかぐわしい香りとともに、当宮の御神宝をご観覧いただけましたら幸いです。



豊臣秀吉公奉納燈籠  
桃山時代



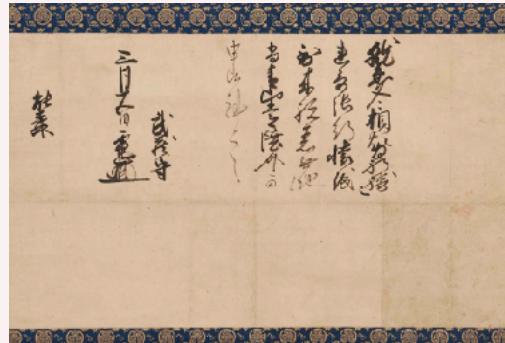
紅梅之図 竹内栖鳳筆 大正一昭和時代



白梅之図 竹内栖鳳筆 大正一昭和時代



豊臣秀頼公奉納 重要文化財 太刀 國広 桃山時代



徳川秀忠公書状 江戸時代



徳川家康公夢想連歌 江戸時代